

令和6年度
香川県自主防災組織リーダー研修会
実施報告書

令和6年11月30日

主催 一般財団法人日本防火・防災協会
香川県
後援 総務省 消防庁

目次

- 実施概要.....
- 研修プログラム.....
- 参加者名簿.....
- 受講者アンケート結果.....

～研修資料～

- 防災気象情報の利活用について
講師：気象防災アドバイザー 大河内 孝子氏.....
- 先進自主防災組織活動事例紹介
講師：かがわ自主ぼう連絡協議会.....
- 災害時のトイレの利用及び、企業との防災活動の連携について
講師：県危機管理課 藪根課長補佐.....

香川県自主防災組織リーダー研修会 実施概要

1. 目的

地域において自主防災組織の指導者的役割を果たすリーダーに対して研修を行い、研修の成果を各地区の自主防災組織の活動へ浸透させることにより、自主防災組織の活動の活性化を図り、地域防災力の向上を目指す。

2. 主催

一般財団法人日本防火・防災協会、香川県

3. 後援

総務省消防庁

4. 期間

令和6年11月30日（土）

5. 場所

香川県消防学校（高松市生島町 689-11）

6. 研修内容

別紙「研修プログラム」のとおり

7. 受講者

27名

別紙「参加者名簿」のとおり

○研修プログラム

■11月30日（土） 会場：香川県消防学校

（敬称略）

時間	内容
9:30 ～9:40	開会式：危機管理総局長 挨拶
9:40 ～10:30	「防災気象情報の利活用について」 講師：気象防災アドバイザー 大河内 孝子
10:40 ～11:20	「先進自主防災組織活動事例紹介」 講師：かがわ自主ぼう連絡協議会
11:20 ～11:40	「災害時のトイレの利用及び、企業との防災活動の連携について」 講師：県危機管理課
11:50 ～13:00	「炊出し訓練」 講師：かがわ自主ぼう連絡協議会女性部
13:00 ～14:30	「能登半島地震を踏まえた避難所運営について」 講師：静岡大学グローバル共創科学部 教授 池田 恵子
14:40 ～16:40	「HUG 訓練」 講師：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 危機管理先端教育研究センター 技術補佐員 高橋 真里
16:40 ～16:50	閉会式：危機管理課長 挨拶 アンケート、修了証授与

○研修の概要（敬称略）

(1) 開会挨拶

香川県危機管理総局長 石川 恵一



(2) 防災気象情報の利活用について

講師：気象防災アドバイザー 大河内 孝子



(3) 先進自主防災組織活動事例紹介

講師：かがわ自主ぼう連絡協議会



(4) 災害時のトイレの利用及び、企業との防災活動の連携について
講師：香川県危機管理課



(5) 炊出し訓練
講師：かがわ自主ぼう連絡協議会女性部



(6) 能登半島地震を踏まえた避難所運営について

講師：静岡大学グローバル共創科学部 教授 池田 恵子



(7) HUG 訓練

講師：香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

危機管理先端教育研究センター 技術補佐員 高橋 真里



(8) 閉会挨拶・修了証授与

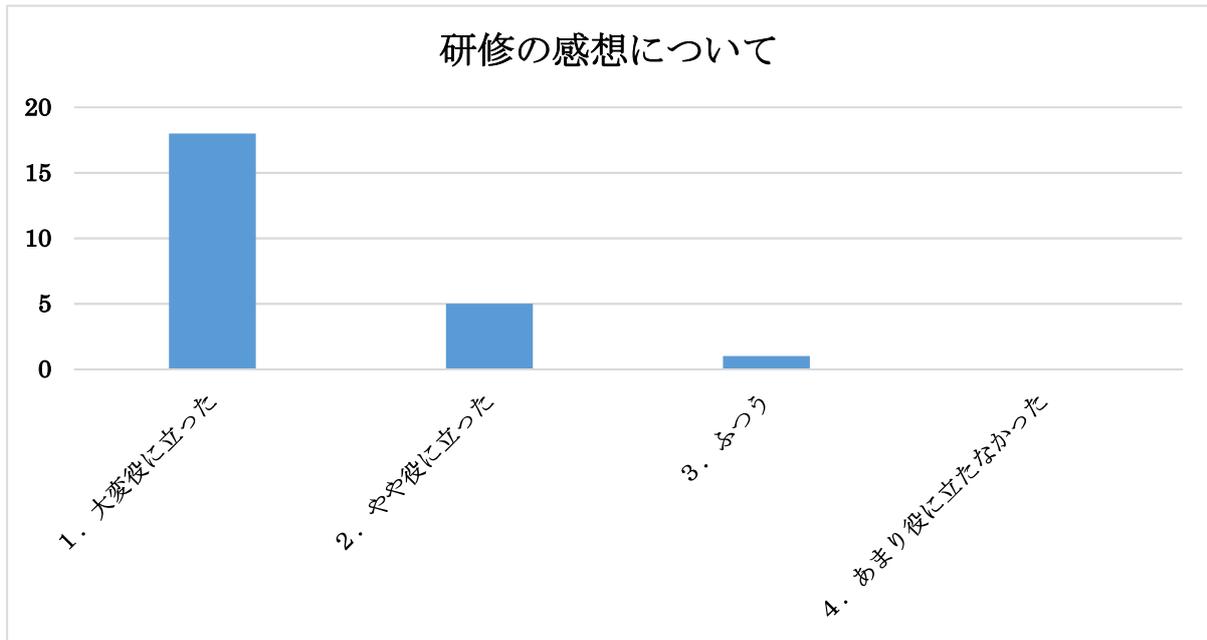
香川県危機管理課長 三谷 一秀



〈 受講者アンケート 〉

○受講者アンケート結果

(1) 今回の研修に参加してどのように感じになりましたか。



受講者の8割以上が「大変役に立った」、「やや役に立った」と回答した。

(2) どのようなところが役に立った、又は役に立たなかったですか。

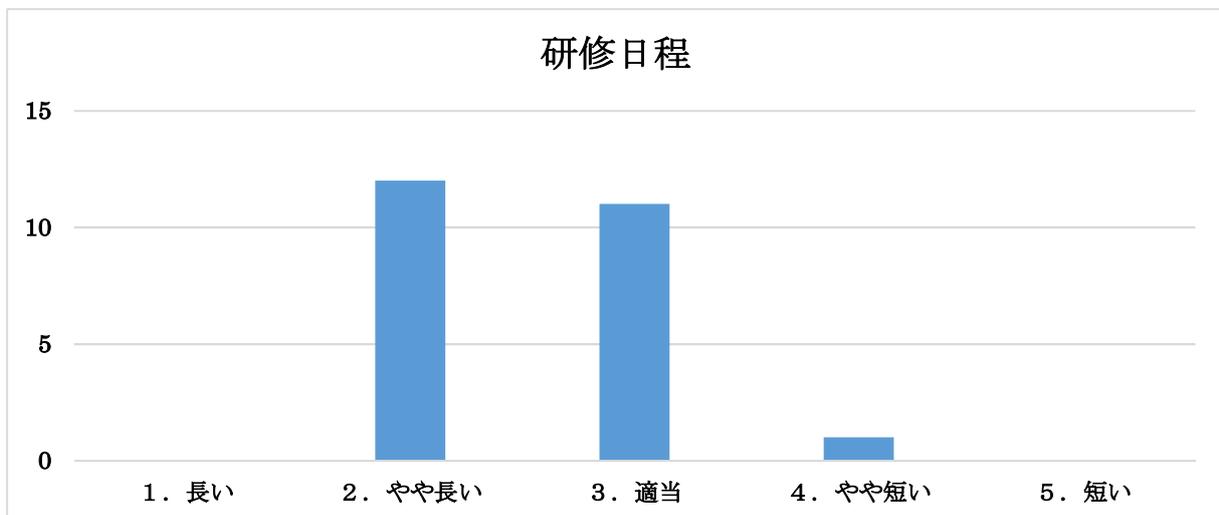
○役に立った

- ・ハザードマップと警報との関係が良くわかった。
- ・男性参加者、運営者がマジョリティの中で、男女共同参画の話題が聞けて良かった。
- ・HUG 訓練をしたことはなく、貴重な体験だった。
- ・基礎知識+過去の災害の事例を専門家の方々から直接お話を伺うことが出来た。

○役に立たなかった

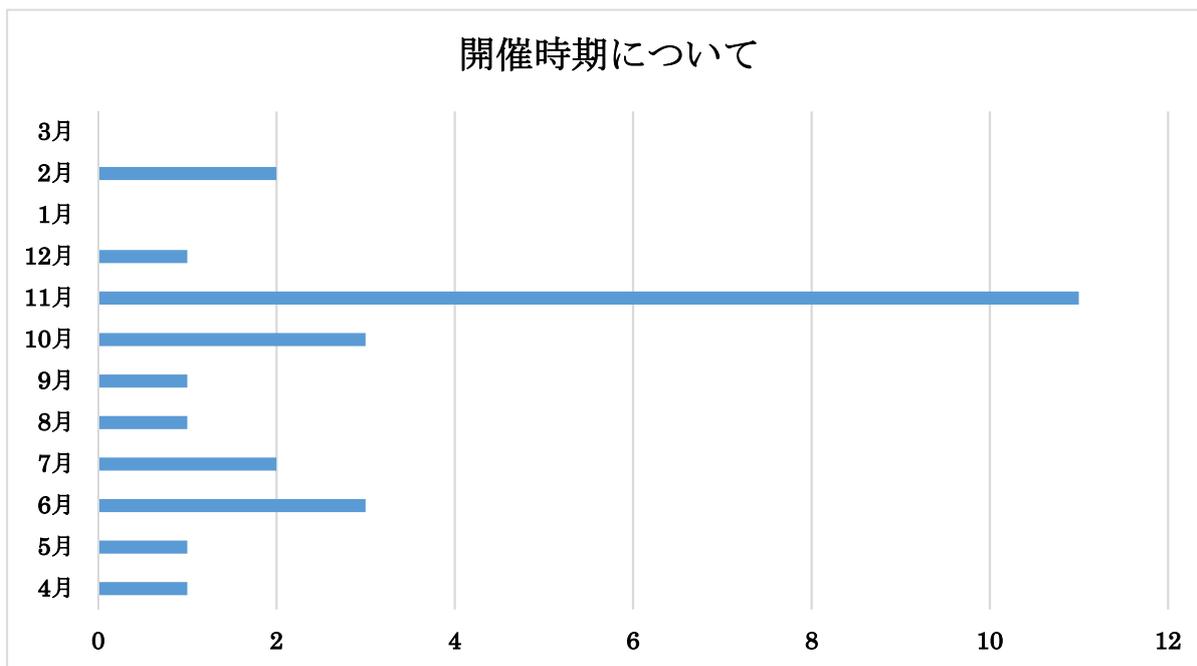
- ・能登半島地震の避難所運営についてもっと詳しく学びたかった。

(3) 今回の研修日程について、どう思いますか。



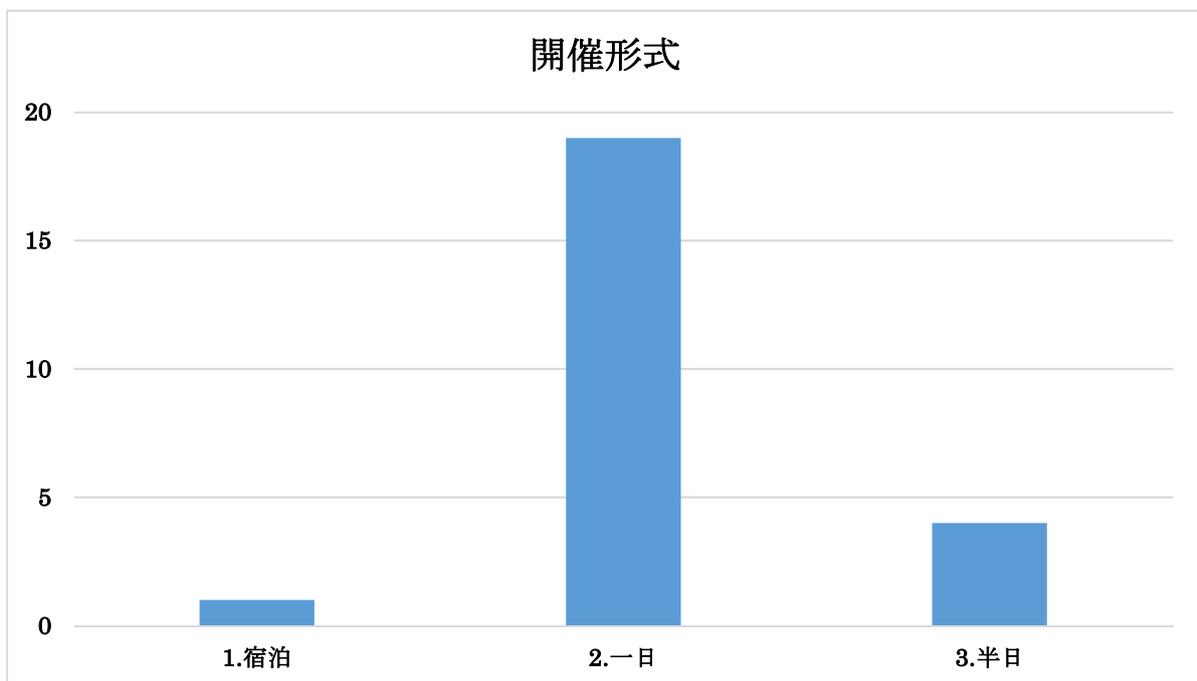
受講者の約4割が「適当」若しくは「やや長い」と回答した。

(4) 研修の開催時期は、いつ頃がよいですか。



回答の多い順に、11月（41%）、10月（11%）、6月（11%）となっている。このことから、受講者の半数の方が「10月～11月」を希望しているが、「6月」という年度当初の開催も希望が多いことがわかる。

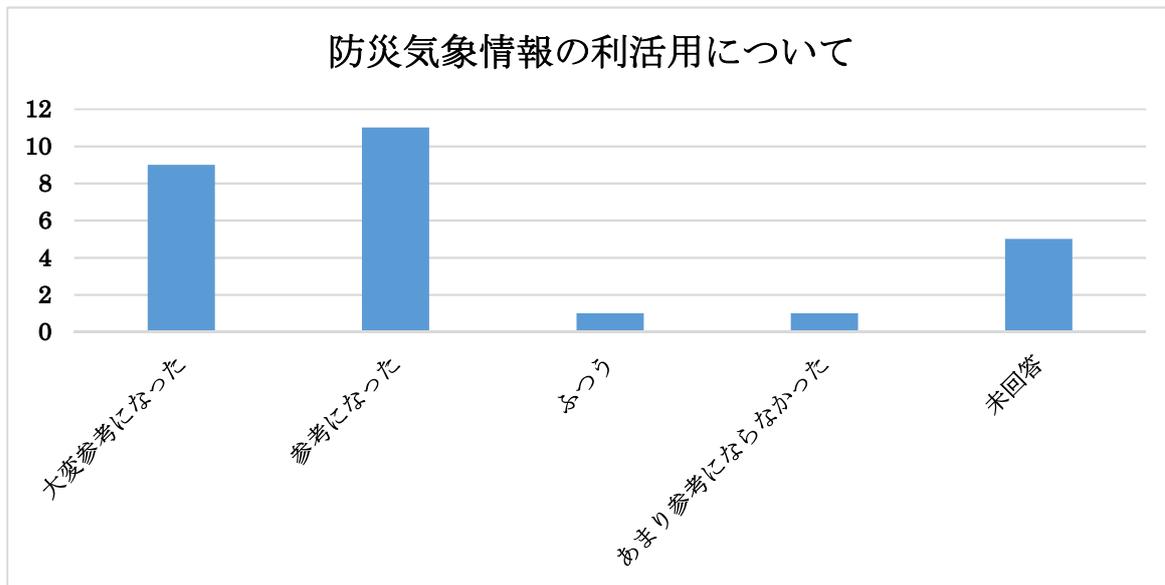
(5) 研修の開催形式について



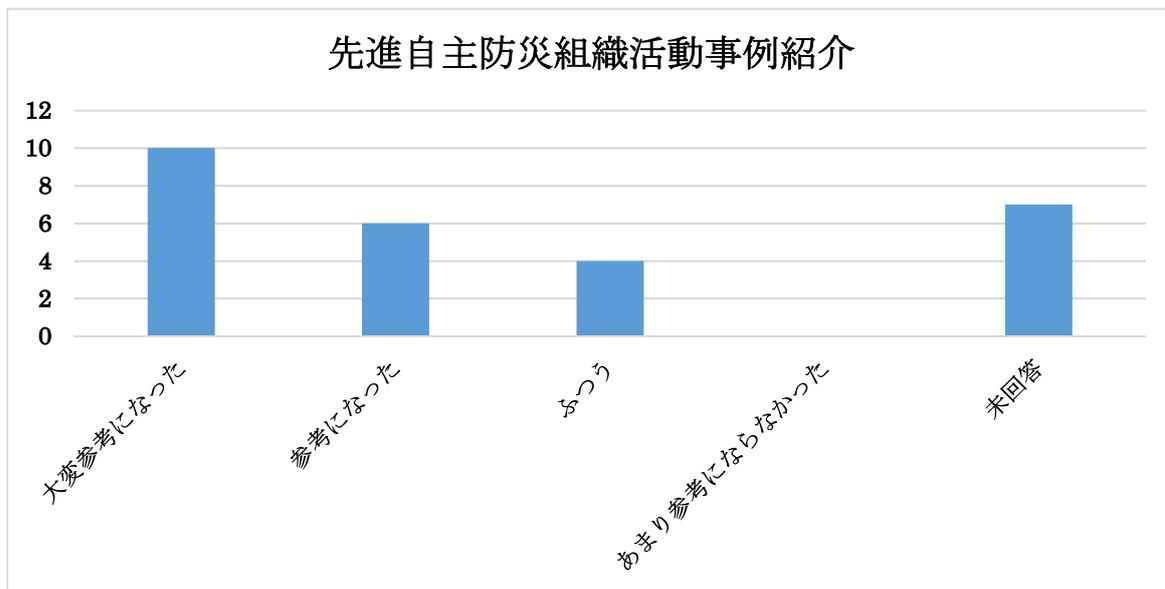
受講者の約7割の方が「1日研修」を希望した。

(6) 今回の研修についての感想

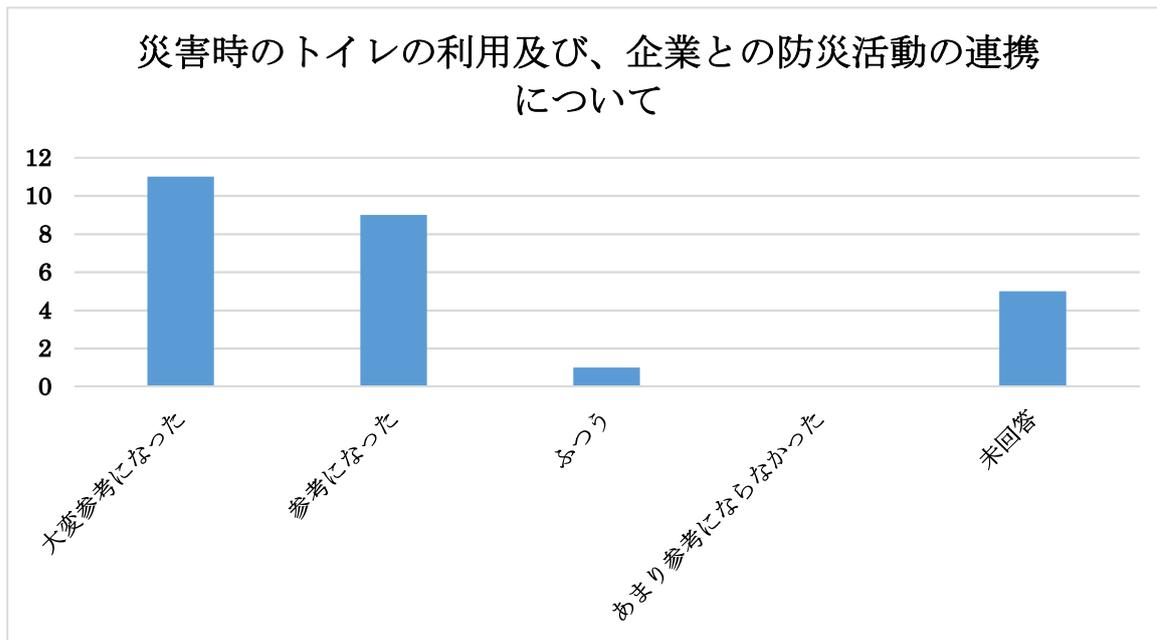
① 防災気象情報の利活用について (大河内 孝子氏)



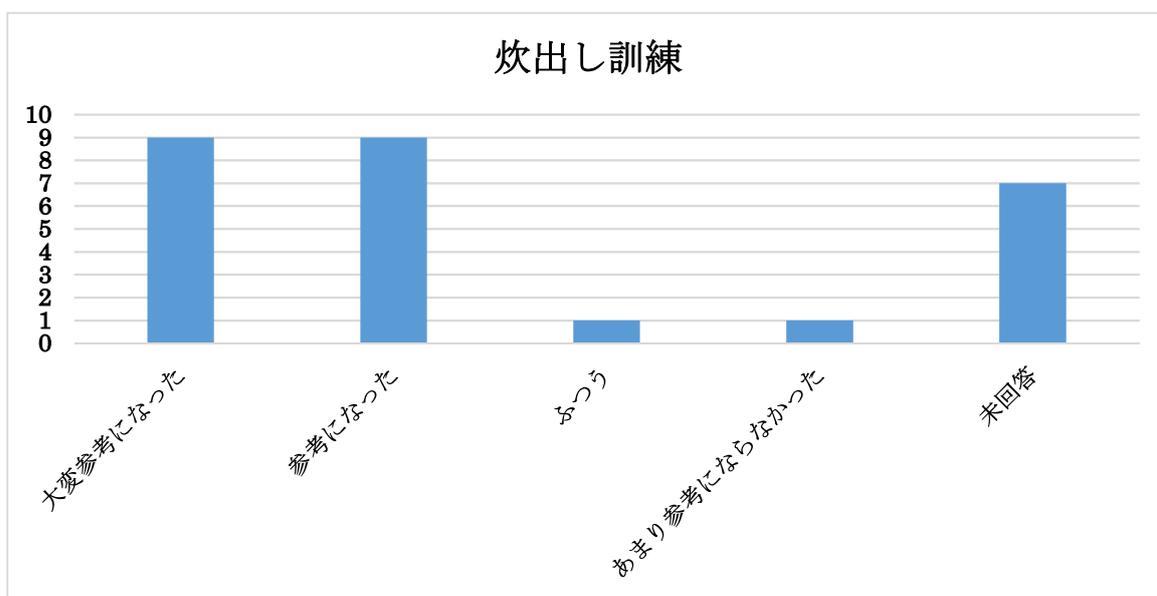
② 先進自主防災組織活動事例紹介 (かがわ自主ぼう連絡協議会)



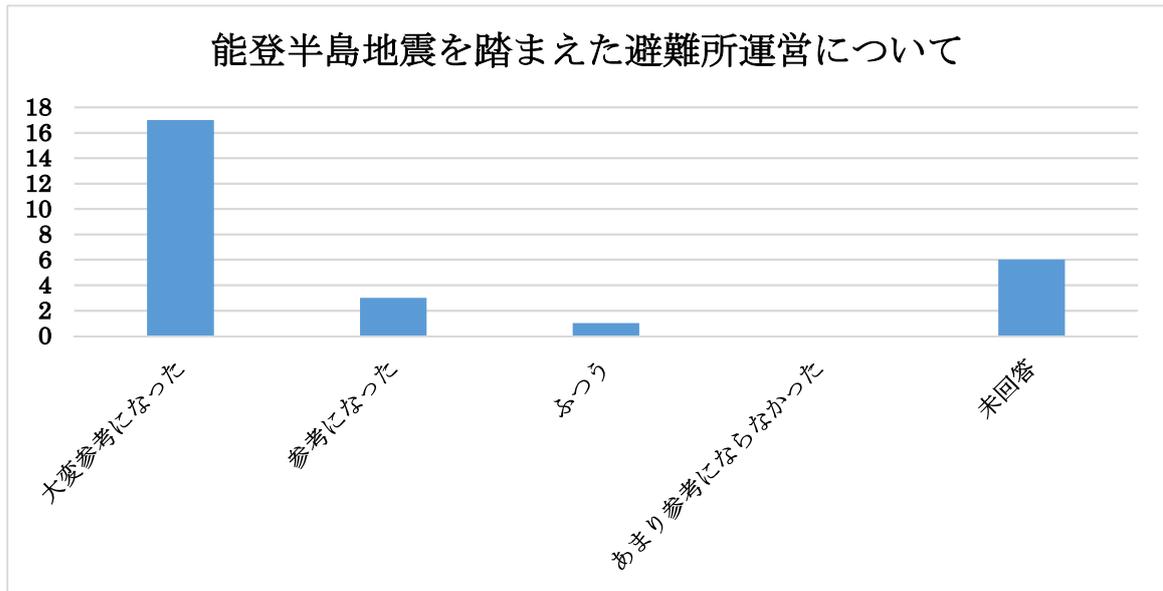
③ 災害時のトイレの利用及び、企業との防災活動の連携について（県危機管理課）



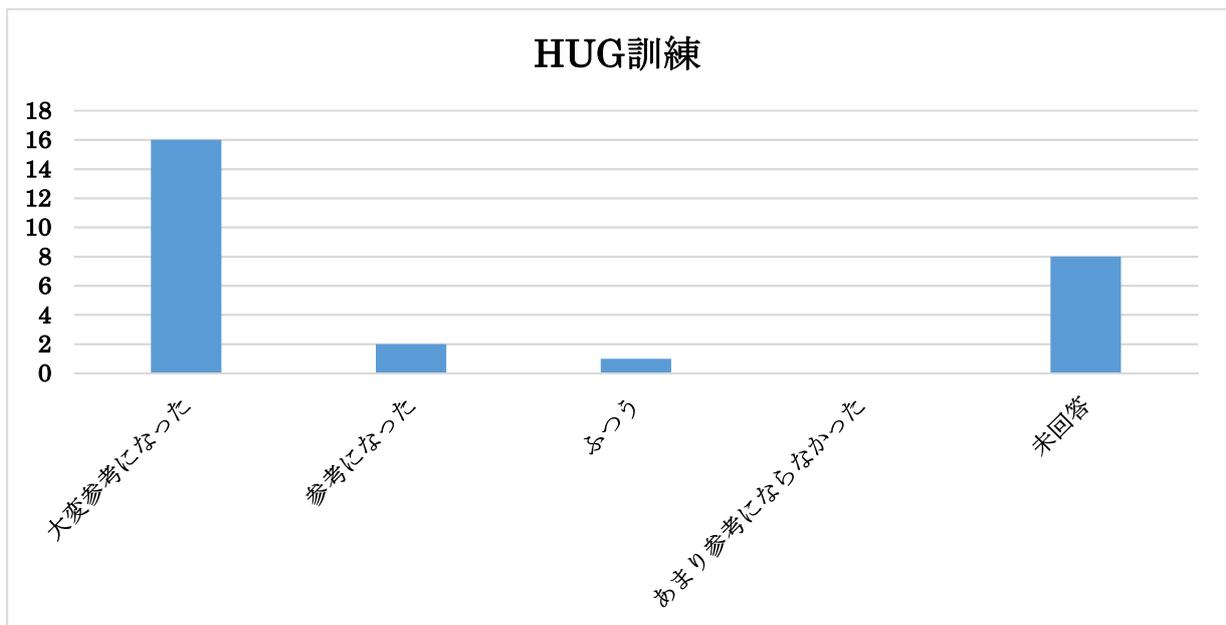
④ 炊出し訓練（かがわ自主ぼう連絡協議会）



⑤ 能登半島地震を踏まえた避難所運営について（池田 恵子氏）



⑥ HUG 訓練（高橋 真里氏）



（7）今後の研修で実施してもらいたい内容があれば、お書きください。

- ・ HUG 訓練
- ・ 自主防災活動の実態
- ・ 実技訓練等
- ・ 自主防災組織のリーダーとしての在り方と注意点について
- ・ 避難所運営全般

(8) 今回の研修について、意見や感想を自由にお書きください。

- ・ 池田先生の話は大変具体的で、どういうことに注意すべきか良くわかった。HUG 訓練は、実際に起こったら、まずボーとして動けないかもしれないと思いました。
- ・ 初めて聞くような事ばかりで勉強になりました。まだまだ、実践できないですが、経験を積んでいきたいと思います。
- ・ 避難所運営については大変勉強になった
- ・ HUG 訓練では、いろいろな視点で判断する事が必要だし、大切だと感じました。

〈 研 修 資 料 〉

地域の防災活動における 気象情報の利活用について ～マイ・タイムラインの作成～

2024年11月30日

大河内 孝子



気象防災アドバイザー
おおこうち たかこ
大河内 孝子

善通寺市にて生まれ育つ。
元・テレビ局アナウンサー・記者（2013～2024年）。
「天気予報の視聴率が一番高かったこと」から、
気象予報士に（2019年～）。
趣味はしっぽの森で引き取った愛犬と、県内の山や海
を散歩すること、麻雀。

気象防災アドバイザー

気象庁の実施する、地域防災の訓練を受けた気象予報士。
災害時に自治体の首長に避難情報発表の助言などを行う。
全国で273名が委嘱（令和6年10月現在）。

→きょうは、普段利用している防災気象情報や、
なぜその情報を使うのかについてお伝えします。

まずは、ざっくり把握（避難のタイミング）

高松市/ワードプレス



キキル（危険度分布）とは

気象庁 大気海洋部気象リスク対策課広域避難支援気象防災推進官 坪井高宏氏 提供

- 雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示（気象庁ホームページ上で10分ごと更新）
- 土砂災害・浸水害・洪水害それぞれの危険度を5段階に色分けして表示



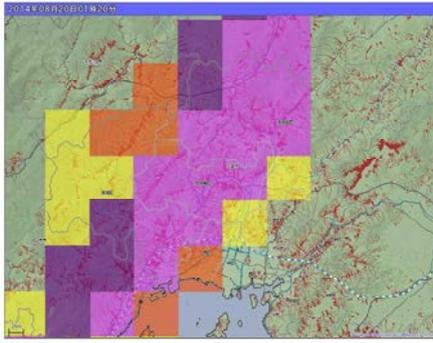
キキルの基となる技術

気象庁 大気海洋部気象リスク対策課広域避難支援気象防災推進官 坪井高宏氏 提供



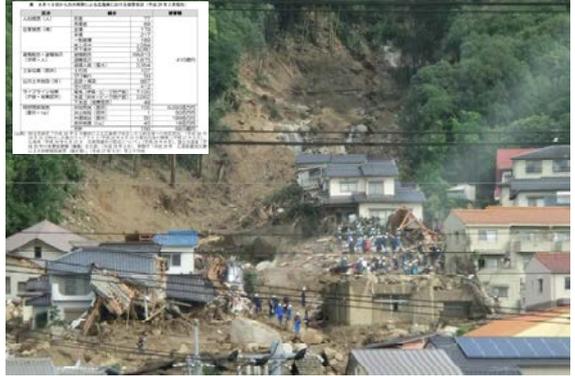
平成26年8月豪雨（広島県）

気象庁ホームページより



平成26年8月20日03時21分
(土砂災害発生最初の通報)

気象庁大気観測所広島県2分計観測所(広島県東広島市尾道町中津島)提供



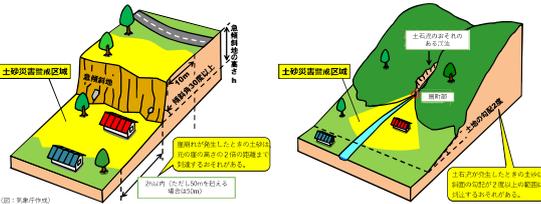
避難指示に指定される場所（土砂災害警戒区域）

がけ崩れの土砂災害警戒区域

- 傾斜度が40度以上で高さ5m以上の区域（急傾斜地）
- 急傾斜地の土壌から水平距離10m以内の区域
- 急傾斜地の下流から急傾斜地の高さの2倍以上の区域（50mを超える場合は50mの区域）

土石流の土砂災害警戒区域

- 土石流の発生のおそれのある浸透において、流域部から下流で高さが2倍以上の区域



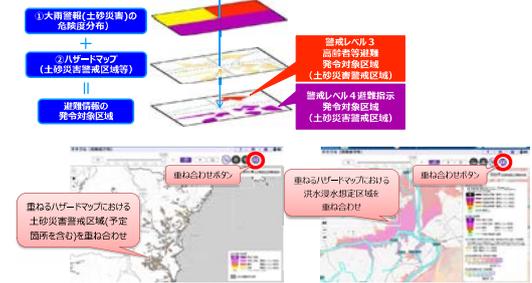
- 土砂災害警戒区域の指定（国土交通省令第117号（平成26年11月17日）附第6号）
- 危険な傾斜地（急傾斜地）に関する規定の一例としては、傾斜の割合は、表面傾斜角が傾斜角の99%が40度以上、かつ、50m未満、
- 土石流に関する規定の一例としては、土砂災害警戒区域の指定は、流域部を発生した土石流の到達する99%が2倍以上、

今いる場所から避難すべきか

気象庁企画課 高木謙博氏 提供

避難情報の発令対象区域は、土砂災害の危険度分布において危険度が高まっているメッシュと重なった土砂災害警戒区域等に避難情報を発令することを基本とする（土砂災害警戒区域等を避難情報の発令の対象としてあらかじめ決めておく）。

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）より



土砂災害警戒区域

気象庁企画課 高木謙博氏 提供



出典：国土交通省 国土院「国土院」(https://esportal.go.jp/map/16wvst-06wa)

浸水想定区域（想定規模に注意）

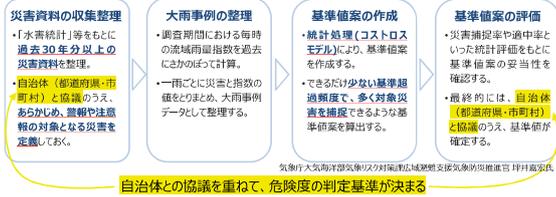
気象庁キックオフ



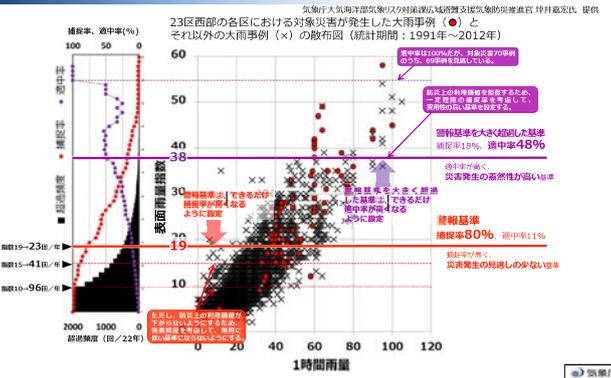
基準設定の考え方

浸水害 洪水

- 基準値は、過去30年以上の災害発生/非発生時の指数値を統計的に調査して設定する。
- インフラの整備状況は災害頻度や被害規模として現れるので、災害実績に基づき設定する基準値には、その効果が間接的に反映されている（ex. 整備が進む等の理由から過去に災害が発生していない地域では、基準値が高く設定される）。
- 下水道や河川堤防の整備状況などが違うため、同じ雨が降ったとしても災害の起こりやすさには地域差がある。基準値はその地域差を表現するものである。
- 基準値の妥当性は定期的に確認・評価（1年に1回、最新の災害資料等を追加して、災害との関係を精査）するとともに、必要に応じて、適切な基準値への見直しを行う。



散布図でみる警報基準と警報基準を大きく超過した基準の違い



キキル「黒」を待つことなく「紫」で避難の判断を

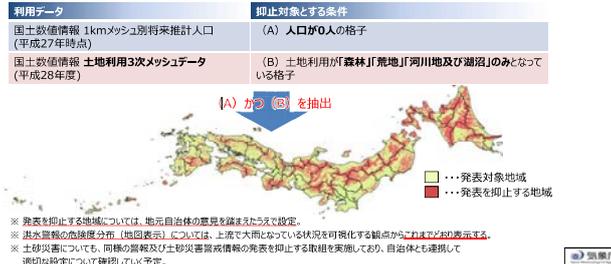
土砂災害 浸水害 洪水

色とその意味	表示条件
黒 災害切迫	指数の実況値が大雨特別警報の指標に用いる基準に到達した場合 「災害切迫」(黒)は、災害がすでに発生している可能性がある状況。
紫 危険	指数の実況値又は予測値が土砂災害警戒情報の基準等に到達する場合 「紫」が出現した段階で速やかに安全な場所に避難する判断を!
赤 警戒	指数の実況値又は予測値が警報基準に到達する場合
黄 注意	指数の実況値又は予測値が注意報基準に到達する場合
今後の情報に留意	指数の実況値及び予測値が注意報基準未滿の場合

※ 土砂災害は2時間先、浸水害は1時間先、洪水は3時間先までの予測を用いている。

避難情報の対象とならない地域への警報発表を抑制

- 市町村の避難指示や住民の自主避難等の判断に警報等をより一層活用してもらうため、自治体とも連携しつつ、避難指示等の対象とならない地域への警報等の発表を抑制する取組を実施。
- 災害の捕捉状況はほとんど変わらないまま、空振り回数を0.5~1割程度減少させることが可能。(1991年から2018年までの28年間で評価した結果より)



過去の主な高潮による災害

気象庁大気海洋部気象リスク対策課広域連携支援気象防災推進官 持井高宏氏 提供

伊勢湾台風 (昭和34年)

- 伊良湖(愛知県東海市)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位380cmを観測。
- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。(※河防白書より)
- 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により長時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

平成11年(1999年)台風第18号

- 午深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速36.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。
- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。(※河防白書より)
- 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。

出典: 国土交通省水防計画課「災害事例データベース」(河防白書)第49号(2011)

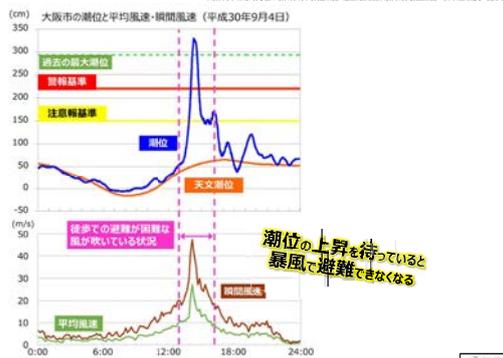
高潮災害で命が脅かされる危険性が認められる場所

気象庁大気海洋部気象リスク対策課広域連携支援気象防災推進官 持井高宏氏 提供

- **現象:** 潮位が海岸堤防等の高さを超えるなどして流入した氾濫水により、広い範囲が一気に浸水し、家屋の流失などが起きる。潮位が堤防を超えていなくても、高潮と重なった高波が海岸堤防を越えるなどして流入した氾濫水が家屋を直撃するおそれもある。
- **命が脅かされる危険性が認められる場所:** 潮位に応じた浸水想定区域では命に危険が及ぶ。台風や低気圧等の接近が予想されているときには、高潮警報等で伝えられる予想最高潮位(高潮の高さ)をもとに命を守るために立退き避難が必要かどうかを確認する必要がある。



潮位上昇よりも先に暴風が吹き始めて避難が困難に ～平成30年台風第21号～

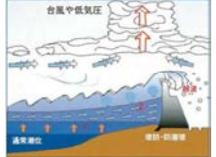


高潮警報基準

気象庁大気海洋部気象リスク対策課気象情報支援室気象防災推進官 坪井高志氏 提供

高潮警報は、高潮により命に危険が及ぶおそれがあると予想される場合に、暴風が吹き始めて屋外への立退き避難が困難となるタイミングも考慮して、暴風が吹き始める3～6時間前（又は潮位が高潮警報基準を超える3～6時間前）に発表される。

- 危険潮位**
- その潮位を超える、海岸堤防等を超えて浸水のおそれがあるものとして、各海岸による堤防等の高さ、過去の高潮時の潮位等に留意して、市町村が避難情報の対象区域毎に設定する潮位。
 - 台風等の接近時に潮位がこの危険潮位を超えると予測された場合は、海からの氾濫流が陸上の家屋等に襲来するおそれがあり、高潮により浸水が想定される区域の住民は避難が必要となる。



- 高潮警報の基準（潮位）**
- 高潮警報の基準は市町村毎に設定されており、危険潮位が設定されている場合は危険潮位が基準として設定されている。危険潮位が設定されていない場合は、過去の高潮発生との関係性等から基準が設定されている。
 - 基準については、気象庁が都道府県及び市町村と調整の上、決定される。
 - 潮位がこの基準を超える見込みと予測された際には、高潮警報（警戒レベル4相当情報）を予想最高潮位を明示して発表し、市町村は警戒レベル4（避難指示）を予想最高潮位に及び想定される浸水区域の住民に対し発令することが基本とされている。（「防災基本計画」及び「避難情報に関するガイドライン」より）

高潮警報・注意報（予想最高潮位）と暴風警報の避難への活用

気象庁大気海洋部気象リスク対策課気象情報支援室気象防災推進官 坪井高志氏 提供

- ▶ 台風等の接近時には、潮位の上昇よりも先に暴風が吹き始め、屋外への避難が困難となるため、暴風が吹き始める3～6時間前（又は潮位が高潮警報基準を超える3～6時間前）に発表される高潮警報が発表された時点で避難を開始する必要がある。
- ▶ 気象警報・注意報は、警戒級、注意報級の現象が予想される時間帯をそれぞれ赤、黄色で表示。また、雨量、風速、潮位などの予想値も時間帯ごとに確認することが可能。

市町村	22日					23日					備考・留意する現象
	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12		
大雨	10	50	50	50	50	60	60	60	60	24時間連続豪大雨	
暴風	20	23	25	25	25	28	30	35	40	沿岸に暴風域	
高潮	5	5	10	10	10	10	10	11	11	沿岸に高潮域	
土砂災害	0.7	0.7	1.0	1.0	1.7	1.0			1.0	土砂の発生	
雷										沿岸に注意報域	

夕方から平均風速25メートルの暴風が吹き始める予測

予想最高潮位（高潮の高さ）標高2.0メートル

～質問＆マイタイムライン作成時間～

ご清聴ありがとうございました！！

つくろう! マイ・タイムライン

香川県

マイ・タイムラインで風水害に備えましょう

雨や風は事前に予測できるので、風水害が発生する前に避難をすることができます。しかし、その時になってからいろいろ考えては、逃げ遅れてしまうかもしれません。今のうちに、マイ・タイムラインを作っておきましょう。マイ・タイムラインとは、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めたものです。マイ・タイムラインの作成を通じて、しっかり準備をすすめ、風水害から身を守りましょう。

マイ・タイムラインが役立つ3つのとき

1 台風が近づいているとき

河川の氾濫・土砂災害・高潮の発生のおそれがあります。

- 台風が接近・上陸すると強風や大雨を伴い、高潮を引き起こすこともあります。
- 台風の経路は予報と変わる可能性があるため、天気予報をこまめに確認しましょう。

2 大雨が長引くとき

河川の氾濫・土砂災害の発生のおそれがあります。

- 梅雨前線、秋雨前線が同じ場所から動かないときや線状降水帯が発生したときは、大きな災害に結びつくことがあります。



3 短時間の急激な豪雨が発生するとき

河川の氾濫・土砂災害の発生のおそれがあります。

- 短時間の急激な豪雨(ゲリラ豪雨)は7～9月頃に発生しやすく、1時間に50mm以上の非常に激しい雨が降ることがあります。
- 晴れていても、天気予報で「大気の状態が不安定」や「雷注意報発表」などという言葉を目にしたら注意しましょう。



マイ・タイムラインをつくるための2つのポイント

ポイント1 ハザードマップで災害リスクを確認する

ハザードマップ(防災マップ)を使い、自宅や自宅近くに浸水や土砂災害のおそれがないか確認しましょう。災害リスクがわかると、どの情報を入力すればよいか分かります。

自宅にハザードマップがない場合の入手方法

1 市役所・町役場

2 自治体のホームページ

3 かがや防災Webポータル

4 防災アプリ「香川県防災ナビ」

※ 現在地の防災マップがわかります。

防災ナビの主な機能

- ① 危険なエリアにいる利用者へのプッシュ通知
- ② ハザードマップ・避難所情報の地図表示
- ③ 避難所等へのルート検索
- ④ 家族等の安否確認

ポイント2 防災気象情報や避難情報を確認する

気象庁が発表する気象情報や市町が発令する避難情報の、意味や入手方法を確認しましょう。避難の準備や開始のタイミングを決める目安となります。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報(気象庁)

※必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限りません。詳しくは… [気象庁 警戒レベル](#) 検索

マイ・タイムライン使用時の注意点

台風や大雨などの自然現象は、想定したとおりに行進するとは限りません。実際にマイ・タイムラインを使用する際には、次のことに注意して行動してください。

- 1 マイ・タイムラインは、あくまで行動の目安。
- 2 防災気象情報や避難情報などをこまめに収集・確認。
- 3 収集・確認した情報をもとに、臨機応変に判断。



発行:香川県危機管理総局危機管理課(TEL:087-832-3111)
監修:香川県防災・減災対策アドバイザー

マイ・タイムラインをつくろう

1 いつを想定したマイ・タイムラインかを記入しましょう。

- 台風が近づいているとき **←まずは台風からつくってみよう!**
- 大雨が長引くとき ● 短時間の急激な豪雨が発生するとき

2 避難場所を決めましょう。

- 市町が指定した避難場所(災害の種類ごとに指定されています)だけでなく、安全な場所にある親戚や知人宅、ホテルなどへの避難も検討してみましょう。自宅の安全が確保できれば、危険をおかしてまで避難場所に行く必要はありません。
- 避難場所まで行く安全なルートや移動手段も決めておきましょう。

3 避難のタイミングを決めましょう。

- 気象情報や避難情報をもとに、避難の準備や開始、完了のタイミングを考えましょう。
- 高齢者や子どもなど、避難に時間のかかる家族がいる場合は、早めに避難しましょう。
- 遅くとも、「避難指示」が発令されたら、危険な場所にいる人は全員避難しましょう。

- 避難のポイント**

 - ! **台風が近づいているとき...**
風が強くなる前に避難しましょう。強風のときは移動が困難となります。
 - ! **大雨が長引くとき...**
山やけが崩れやすくなります。避難情報や「土砂災害警戒情報」を聞いたら、早めに避難しましょう。
 - ! **短時間の急激な豪雨が発生するとき...**
急に強い雨が降り出すため、避難の準備のための時間はほとんどありません。避難場所までの移動が困難な場合は、頑丈な建物の2階以上など、より安全な場所へ避難しましょう。

4 避難開始までに、いつ、何をすべきかを考えましょう。

避難を始めるまでの時間に自分や家族がしなければならない準備と、する順番を考えましょう。時間の経過を考えながら、どのタイミングでどの行動をとるのかを決めましょう。



() ときのマイ・タイムライン

避難場所 { } () で () 分
{ } () で () 分

警戒レベル 5	緊急安全確保 	命の危険 すぐに安全確保!	たとえば
警戒レベル 4	避難指示 		・おじいちゃんの家へ避難
警戒レベル 3	高齢者等避難 		・避難しやすい服装に着替える ・インターネットで川の水位を確認する
警戒レベル 2	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁) 		・ハザードマップで避難場所を再確認 ・携帯電話を充電
警戒レベル 1	早期注意情報(気象庁) 		・足りない防災グッズがないか確認 ・天気予報をこまめにチェック

※警戒レベルは必ずしもこのとおりの順番で発表されるとは限りません。

香川県ホームページに作成例があります ▶ [香川県 防災対策リーフレット](#) 検索

作成例 1

(台風が近づいている) ときのマイ・タイムライン

避難場所 【 OO小学校 】 (徒歩) で (10) 分
 【 ××コミュニティセンター 】 (車) で (15) 分

警戒 レベル 5	緊急安全確保 	命の危険 すぐに安全確保!	たとえば
警戒 レベル 4	避難指示 	・状況に応じて、どちらかの避難場所に避難 昼:××コミュニティセンター 夜:OO小学校	・おじいちゃんの家へ避難
警戒 レベル 3	高齢者等避難 	・近くに住む祖父・祖母を 車で避難所(××中学校)へ ・かがわ防災Webポータルで川の水位を調べる	・避難しやすい服装に着がえる ・インターネットで川の水位を調べる
警戒 レベル 2	大雨・洪水・ 高潮注意報(気象庁) 	・香川県防災ナビを確認 ・祖父・祖母に連絡(避難の準備) ・家族と今度の行動の打ち合わせ	・ハザードマップで避難場所を再確認 ・携帯電話を充電
警戒 レベル 1	早期注意情報 (気象庁) 	・進路予想をこまめにチェック ・非常用持ち出し袋の確認	・足りない防災グッズがないか確認 ・天気予報をこまめにチェック

※警戒レベルは必ずしもこのおりの順番で発表されるとは限りません。

作成例 2

(大雨が長引く) ときのマイ・タイムライン

避難場所 【 おばあちゃんの家 】 (車) で (15) 分
 【 OO高校の体育館 】 (徒歩) で (10) 分

警戒 レベル 5	緊急安全確保 	命の危険 すぐに安全確保!	たとえば
警戒 レベル 4	避難指示 	避難完了! 移動開始	・おじいちゃんの家へ避難
警戒 レベル 3	高齢者等避難 	○避難場所に行くか決める ・持出品最終チェック、着替え ・おばあちゃんの家に行く場合は連絡	・避難しやすい服装に着がえる ・インターネットで川の水位を調べる
警戒 レベル 2	大雨・洪水・ 高潮注意報(気象庁) 	○お隣のおじいちゃんたちに声かけ ○スマホ充電 ○持出袋に薬とメガネを入れる ○おばあちゃんに、家から出ないよう電話	・ハザードマップで避難場所を再確認 ・携帯電話を充電
警戒 レベル 1	早期注意情報 (気象庁) 	○非常用持出袋と備蓄品をチェック 一足りない物があれば買い出し ○家の周りの排水路を掃除	・足りない防災グッズがないか確認 ・天気予報をこまめにチェック

※警戒レベルは必ずしもこのおりの順番で発表されるとは限りません。

作成例 3

(台風が近づいていて、自宅にいる) ときのマイ・タイムライン

避難場所 マンションの部屋は浸水しないため、無理に避難しない。
 自宅で過ごせる備えをする!

警戒 レベル 5	緊急安全確保 	命の危険 すぐに安全確保!	たとえば
警戒 レベル 4	避難指示 	□自宅待機	・おじいちゃんの家へ避難
警戒 レベル 3	高齢者等避難 	□状況を見て、祖父母を迎えに行く	・避難しやすい服装に着がえる ・インターネットで川の水位を調べる
警戒 レベル 2	大雨・洪水・ 高潮注意報(気象庁) 	□携帯電話の充電を満タンしておく □あるだけの蓄電池を充電 □警戒レベル3にならないかこまめにチェック	・ハザードマップで避難場所を再確認 ・携帯電話を充電
警戒 レベル 1	早期注意情報 (気象庁) 	□食料や水を確保 □カセットコンロのボンベが使えるかチェック □簡易トイレ準備 □懐中電灯、電池があるかチェック	・足りない防災グッズがないか確認 ・天気予報をこまめにチェック

※警戒レベルは必ずしもこのおりの順番で発表されるとは限りません。

令和6年度

自主防災組織リーダー研修会

庵治地区自主防災連合会について

会長 白井 一美
令和 6年11月30日(土)

令和5年度

全国自主防災組織リーダー研修会

自主防災組織の役割

神戸大学名誉教授・地区防災計画学会名誉会長・日本防災士会理事長
室崎益輝

自主防災組織とは

- 自主防災組織は災害対策基本法で「住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災組織」と定義されている
- 理念・・・隣保共同と自主自発
- 役割・・・公助の限界を補い、自助の醸成をはかる

自主防災の自治と共生

- 自主防災の要件
 - 共存共栄・・・みんなの暮らしをみんなで築く
 - 共同共助・・・みんなのまちをみんなで守る
 - 近助・・・「遠くの親戚」より「近くの他人」
- ※ コミュニティの作法
個性を尊重、自立を促し、協働に努め、共生を実現

自助、共助、公助の関係

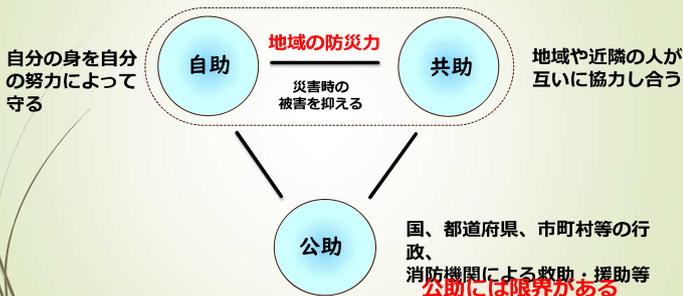


図1 阪神・淡路大震災における市民による救助者数と消防、警察、自衛隊による救助者数の対比

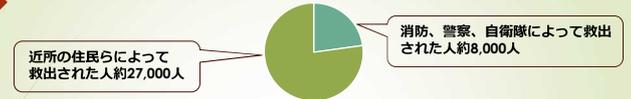
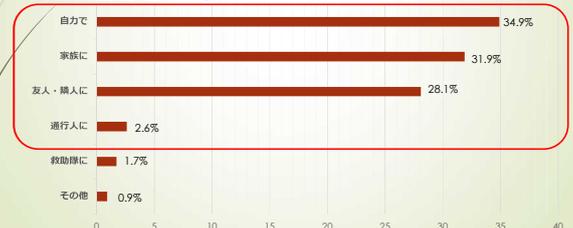


図2 生き埋めや閉じ込められた際の救助

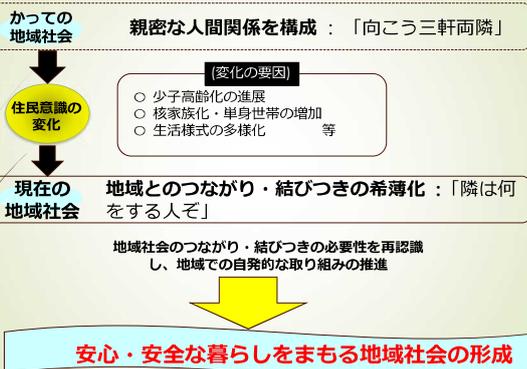


共助の強化が求められる理由

- 地域や自主防災組織でしかできない取り組みに責任を持つ
自衛性、即応性、即値性、連帯性、自発性
- 災害の時代を迎えてコミュニティの果たすべき役割が増大している
行政主導の防災から連携協働の防災へ変わる

自主防災の見直しと再編成

- 災害の進化は防災の進化を求め、防災の進化は自主防災の進化を求めている・・自主防災の転換が必要
 - 連帯性に加えて専門性、持続性、創意性が求められる
 - 地域の結びつき希薄化をどうカバーするか
- ➔ 自主防災組織のあり方を再検討する
ボンド型からブリッジ型へ
 - ① コミュニティもつながりのあるコミュニティを考える
 - ② ライフスタイルも変えていくことが大切である
 - ③ 中学生の応援部隊をつかうとかコンビニとかスーパーの協力
 - ④ 町と町との協力体制



地区防災計画の推進

地区防災計画制度の制定

- 東日本大震災の教訓を踏まえるとともに、自主防災組織の弱点を克服する目的から、新たに「地区防災計画制度」がつけられた
- 2013年の災害対策基本法の改定によりトップダウンの地域防災計画とボトムアップの地区防災計画を「車の両輪」にする防災体制に
- 今までの自主防災組織の防災計画は、あくまでも任意のもので公的な裏付けはなかったが、この地区防災計画は地域防災計画の中に書き込まれることにより、公的な計画と位置付けられた

地区防災計画の特徴

- 地区防災計画は、従来の自主防災組織の活動計画と異なる特質を持っている
 - (1) 私的な計画から公的な計画に
 - (2) 古いコミュニティから新しいコミュニティに
 - (3) 画一的な計画から創造的な計画に
 - (4) 一過性の取り組みから持続的な取り組みに

地域防災計画の展開

■ 地区防災計画の取り組みが全国に広がっている

トップダウンの行政の地域防災計画とボトムアップのコミュニ

ティの地区防災計画は車の両輪

住民の自発性を引き出すうえでも、地域に密着した取り組みをする
うえでも地区防災計画の策定と実践はとても大切

地域でしかできないことが沢山ある・・避難所の食事など

地域の感染防止計画

その計画策定には専門性が欠かせないので、地域防災リーダーや
地域密着NPOの参画は不可欠

コミュニティ防災の要件

■ 災害の時代を迎え、小さな力を合わせてゆく減災の取り組みをコミュニティでも「3つのアップ」

(1) ボトムアップ型

地域の意見やひとり一人の意見を尊重

(2) タイアップ型

パートナーシップ&ブリッジ型の取り組み

(3) ステップアップ型

一歩ずつ階段を上げるように

1日目の食事

■ 避難生活「第1日目の食事」の献立を考える

避難生活では、傷ついた心身をいやし明日へのエネルギーを
培うことが欠かせない

みんなで材料を持ち寄り

身近な食材で手作りする

誰もが元気になるメニューを

みんなでまち歩き

■ 地域のリスク認識は、それを体で感じるところから

■ みんなで街歩きは、防災意識醸成の第1歩

■ リスク認識の「現場主義、総合主義、集団主義」

体で感じる

協働で理解する

自然と歴史を踏まえる

子どもと会話

■ 子どもが変われば親が変わる、

親が変わればコミュニティが変わる

子供との会話が減災の原点である

「つちかう、つたえる、つながる」の3つの「つ」は
子供との会話から

親子のつながり、世代を超えたつながり

災害体験の伝承、減災文化の継承

防災教室

改めて確認しよう災害の恐ろしさ

庵治地区自主防災連合会

昭和51年台風17号災害 大雨洪水警報発令

1976年9月12日午前6時頃撮影

県管理河川長者川水門



水位差が1m以上になっている長者川水門



上流側

海面

現在の長者川水門

(平成5年2月竣工)

水門の嵩上げ(平成23年3月竣工)



長者橋

(平成11年4月竣工)



町道庵治中央線 (ヤスイソーイング工場付近)



現在の市道庵治中央線



台風16号に伴う 高潮警報発令区域図

平成16年8月30日～31日

庵治地区 防災マップ



高潮浸水 区域図



琴電沖松島駅 (31日午前5時50分頃)



市道上の海拔表示



庵治地区内の高潮被災水位表示



河川の水位計設置 (県危機管理課)



防災教室風景 (コミュニティセンター)



出前防災教室(鎌野自治会)



出前防災教室(湯谷自治会)



出前防災教室(高尻自治会)



ま と め

- ◎ 平常時からの地域づくり
- ◎ 人との繋がりを再認識

災害時のトイレの利用及び、企業との防災活動の連携について

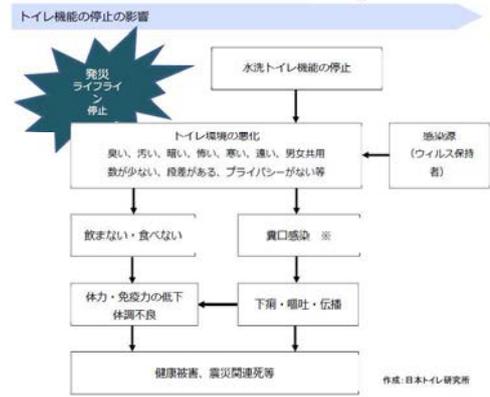
令和6年11月30日
香川県危機管理課

1. 災害時のトイレの利用について

1.1 能登半島地震での避難所での課題・教訓

視点	能登半島地震の課題・教訓
男女共同参画からの避難所運営	女性向け物資の管理や男女共同参画の視点での運営が行き届いていない避難所もあった。
行政と住民の役割分担	避難所における運営責任者の配置や役割分担が適切に行われていない避難所もあった。
避難所の解錠	指定職員が避難所に行かず、避難所の開設が遅れた事例があった。指定職員が避難所を開設する施設に行かず、避難所の解錠が1時間かかった施設もあった。
施設の利用箇所、レイアウトの検討	避難所開設の際にレイアウトが決まっていなかった避難所もあった。避難所のレイアウトを途中で変更することは難しい。
避難所での備蓄	避難所開設時に、パーティションや簡易ベッドなど設置されるべき資機材の展開ができていなかった。
トイレの初動対応	給排水設備が使用できない状態でトイレを利用してしまい、トイレが使えなくなる施設があった。
避難所の寒さ・暑さ対策	生活環境においては、寒さ対策よりも暑さ対策のほうが難しい。暑さ対策については、空調設備しか対処法が無く、電力が落ちると使用できなくなる。ストーブについても、火器の管理や燃料の備蓄の課題がある。
ペットの受け入れ場所の検討	避難所としてペットの受け入れの可否については決めているが、ペットの飼育場所までは決めていない避難所が多かった。ペットを連れて避難する方が一定数いる中で、受け入れを断るのは難しい。

1.2 トイレ機能停止による避難者への影響



※真口感染：手洗いを全くしない等の不適な行為によって、腸管出血性大腸菌やウイルス等を食んだ便が、手や指を介して口に入ることによって感染すること。

出典：避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン（内閣府（防災担当））

1.3 能登半島地震での避難所トイレの実態①

うまく機能する可能性がある取組

携帯トイレ・簡易トイレによる初動対応の有効性は確認できたが、必要量の不足、使用環境の確保、使用方法の周知が課題

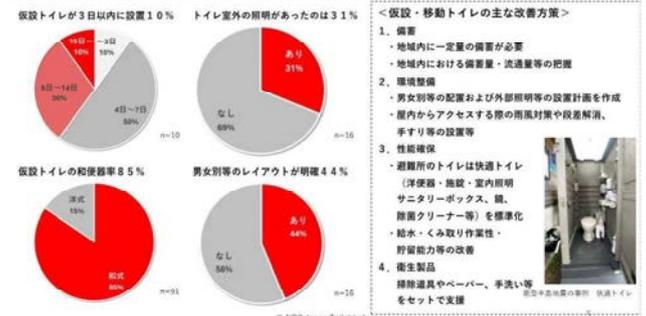


出典：能登半島地震におけるトイレの課題と対策（令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ（第4回））

1.3 能登半島地震での避難所トイレの実態②

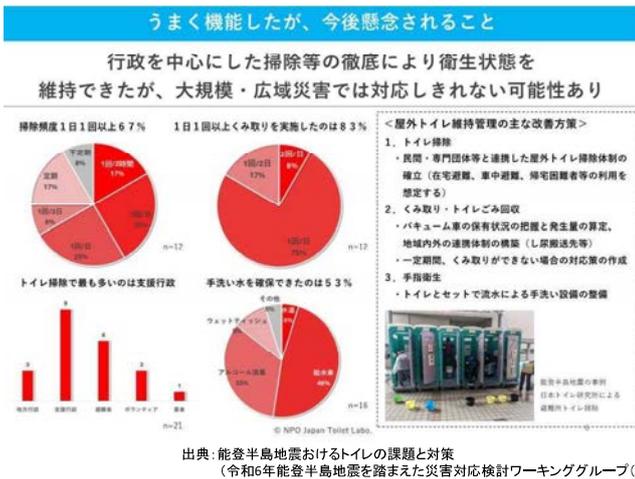
課題を再確認した取組

仮設・移動トイレの外部調達には一定の時間を要すること、和便器、照明なし、男女隣接、段差など、利便性と安全性が課題

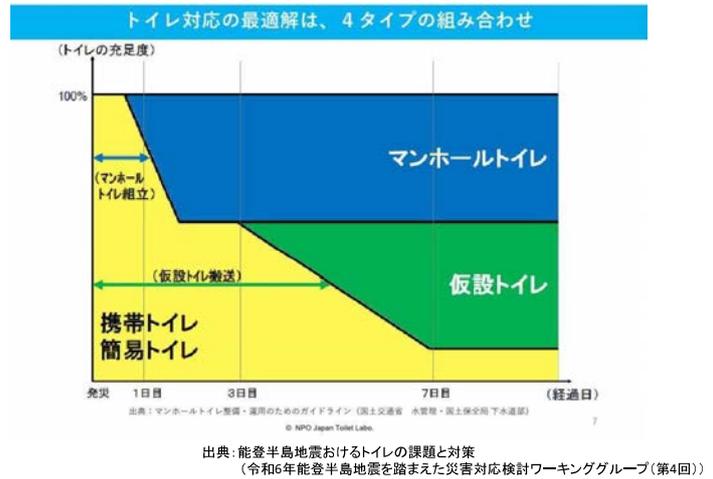


出典：能登半島地震におけるトイレの課題と対策（令和6年能登半島地震を踏まえた災害対応検討ワーキンググループ（第4回））

1.3 能登半島地震での避難所トイレの実態③



1.3 能登半島地震での避難所トイレの実態④



1.4 避難所でのトイレ環境を良好に保つために

○避難所開設時の仮設トイレの利用可能状況の確認

大規模災害発生時には、上下水道の損壊により仮設トイレの水が流せなくなることが考えられます。水が流せない状態で仮設トイレを利用することで汚物が詰まり、衛生環境の悪化、上下水道復旧後すぐに仮設トイレが利用できないなどの問題が起こります。震度5弱以上の地震など大規模災害が発生した場合は、避難所開設後ただちに仮設トイレの利用を禁止し施設の給排水設備の状況を確認しましょう。給排水設備が使えない場合は、災害用トイレ（仮設トイレの便器と携帯トイレの組み合わせ）の利用を周知しましょう。

○災害用トイレの利用方法の周知

能登半島地震の避難所において、災害用トイレの利用当初は携帯トイレを仮設トイレの便器に仕掛けることを忘れて用を足したり、凝固剤が入った袋ごと便袋に入れて用を足し縛る時に中身を飛び散らせてしまう事例があった。平時の防災訓練などで災害用トイレの利用方法の説明や実際使用してもらい、地域住民のかたに災害用トイレの利用方法について周知しましょう。

2. 自主防災組織と企業との地域防災活動の連携について

2.1 能登半島地震でのコミュニティの共助による防災活動

津波避難の事例－珠洲市三崎町寺家下出地区－

地区の特性

能登半島地震での津波避難の事例としては、珠洲市三崎町寺家下出地区の事例があります。この地区は、能登半島の先端部の海沿いの地区であり、約40世帯約90人の住民が暮らしていました。

避難訓練がいきて早期避難により地区全員の命が助かった

能登半島地震の際には、堤防を越える大きな津波が、地震から25分ほどで襲来し、多数の住宅が倒壊しました。一方で、地震発生後に、多くの高齢の住民たちは、荷物を持つことなく、隣近所が声をかけあって、整備していた避難路を利用して、早期に避難をしました。体の不自由な住民は、元気な人が背負う等互いに助け合い、住民全員が、避難路である坂道を登って、高台の集会所に避難しました。その結果、住民全員の命が助かりました。この下出地区では、防災士や地区の役員等の協力によって、自主防災組織が設立されており、避難計画等が準備されていました。そして、2011年の東日本大震災の災害教訓を受けて、10年以上毎年1～2回、避難計画等に基づいて、地震や津波を想定した避難訓練を継続していました。そして、この避難訓練が、今回の能登半島地震からの避難でも、大きな成果を発揮しました。

日頃の避難訓練でタイムを計測

この下出地区の避難訓練では、毎回、班ごとに避難時間を計測しており、最短ルートでの避難を研究していました。また、日頃から発災時は集会所に集まることを徹底していました。そのため、住民たちは迅速な避難に慣れており、今回の地震でも、自然と避難先である集会所に集まりました。また、下出地区の住民同士の人間関係が大変良好で、普段から避難先である集会所でカラオケ大会を開いたりしていました。このように普段から避難先に行く習慣があったことも、早期避難の成功に影響しました。

出典：令和6年度広報誌「ほうさい」第110号（内閣府）

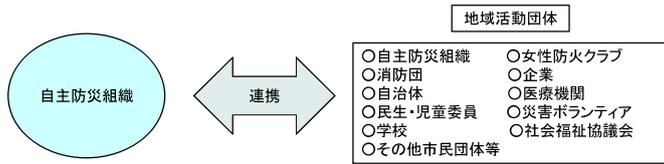
2.2 自主防災組織が抱える課題

- 組織役員の高齢化や屋間の活動要員の不足
- 活動費や資機材の不足
- 自主防災組織に対する住民の意識不足
- 活動のマンネリ化



様々な地域の活動団体との連携が必要

2.3 自主防災組織と地域活動団体との連携



他団体との連携によるメリット

- ・人材が増え、また、保有資機材等も豊富になる
- ・活動範囲が広がり、広域的に事業を実施する事ができる
- ・活動の種類やメニューが増え、活発な活動を継続して実施する事が可能になる
- ・様々な機会を通じた地域住民へのPRが可能となる

2.4 自主防災組織と企業との連携



★自主防災組織のメリット

- 救助、救出、避難活動等への従業員の協力
- 物資や資機材整備の協力
- 地域の一時避難場所としての用地活用

★企業のメリット

- 地域貢献による企業の社会的価値の向上
- 地域と連携することで、実効性の高いBCPの策定・運用が可能
- 企業独自で防災投資を行う場合に比べ、地域で連携すれば、効率的な対応が可能

災害時における地域の防災力の強化
平時における企業価値の向上

2.5 香川県地域防災計画上の位置づけ

【香川県地域防災計画(抜粋)】(第1章 総則)

第2節 防災関係機関等の責務と処理すべき事務又は業務の大綱

(11)事業者

処理すべき事務又は業務の大綱

1	災害時に来客者、従業員等の安全を確保し、業務を継続するため、あらかじめ防災対策の責任者及び災害時に従業員が取るべき行動等を定めて、従業員に対して研修等を行うよう努める。
2	管理する施設を避難場所等として使用すること、その他防災対策について、 地域住民及び自主防災組織等に積極的に協力的に協力するよう努めるものとする。
3	市町及び県が実施する 防災対策の推進に協力するよう努める。
4	災害時における来客者、従業員等の安全確保と 地域住民及び自主防災組織と連携した情報収集、提供、救助、避難誘導等を実施する。

2.6 香川県総合計画上の位置づけ

【香川県総合計画「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画(抜粋)】

(第2章 重点政策)

4 重点政策 ⑤災害や渇水に強い県土を作る

◇ 自主防災組織が未結成である地域や、活動が活発でない組織もあります。また、地域の防災力の要である消防団の充実・強化などが求められております。さらに、**企業が、地域の自主防災組織等とも連携を図りながら、地域の防災力の向上に寄与していくことが重要です。**加えて、各種調査では、家庭での防災対策が万全でないことがうかがえ、県民の防災意識は決して高いとは言えません。このため、**市町と連携して、自主防災組織や消防団の充実・強化、企業の防災活動への参画促進、防災人材の育成**に取り組み、地域の防災力向上を図る必要があります。

2.7 県内企業における地域の防災活動への参加事例

【所有施設の開放】

- 災害発生時に所有施設を避難所などとして、地域住民に開放

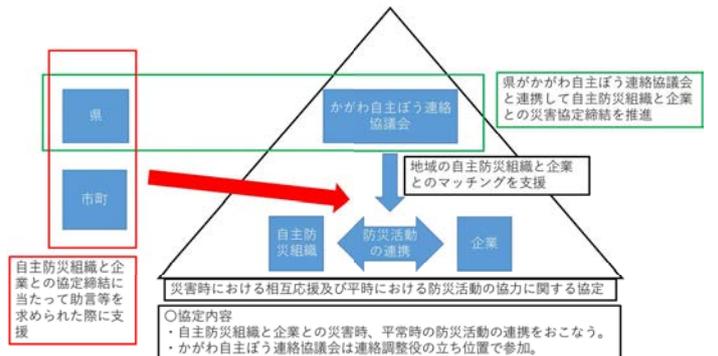
【備蓄物資の確保】

- 常時、社員と近隣住民のための非常食や衛生用品等の備蓄物資(5日分相当)を確保
- 耐震性貯水槽を設置し、常時、飲料水(3日分相当)を貯蔵

【防災訓練の実施】

- 地域住民と合同で実際の災害を想定した訓練を、定期的の実施

2.8 香川県における自主防災組織と企業との連携支援取組①



【かがわ自主ぼう連絡協議会の概要】

かがわ自主ぼう連絡協議会は、県内の自主防災組織の活性化を図るとともに、自主防災組織同士の連携と交流を深めることを目的に、平成19年3月7日に丸亀市川西地区自主防災会の呼びかけにより設立した団体です。

2.8 香川県における自主防災組織と企業との連携支援取組②

今年度、香川県とかがわ自主ぼう連絡協議会が連携して、自主防災組織と地域の企業が連携できる体制づくりを働きかけ、県内18の自主防災組織と28の企業との間で、防災活動に連携して取り組むための地域防災協定を締結。

新たに地域防災協定を締結することとなった、県内自主防災組織と企業による合同締結式を実施しました。

